

年 組 名前：



赤池 悠 森 航平
高橋 咲良(富士北麓)
武田 寛明(大月・上野原)
森 航平(都留)

八海音頭を踊る「おしのエイボンス」のメンバーら
忍野村内(5月)



忍野の団体「踊り通じ歴史知って」

八海音頭を踊る「おしのエイボンス」のメンバーら
忍野村内(5月)

音頭普及に向け、5月には作詞と振り付けを担当した安藤寿和子さん、作曲の重森三果さん(いずれも京都府)を招き、音頭ができた経緯にまつわるトークショーや、実際に音頭を踊るワークショップを開いた。今年の忍野八海祭りでは、安藤さんや重森さんらも舞台に立ち、三味線、笛、太鼓による生演奏に合わせて参加者が踊る予定になっている。

八海音頭は1〜4番があり、八つの池の特徴を紹介している。さらに、歴史をつないでいくという思いを込めて、1番は富士山の麓にできた八つの池に祭られている八犬龍王、4番は令和に八海音頭が誕生したことについて歌っている。

「おしのエイボンス」は2023年3月、忍野八海を後世に伝えるために設立。「忍野村の宝物である忍野八海の歴史や魅力を広めたい」(鷹野さん)として、歌と踊りで覚えられる八海音頭を作ることになった。富士山が世界遺産に登録されてから10年、忍野八海が再興されてから180年の節目となった同年に完成。毎年8月8日に開かれる「忍野八海祭り」でエイボンスを中心に披露している。

忍野村や富士山が好きな県民らでつくる有志団体「おしのエイボンス」が、村や忍野八海の歴史を歌にのせた盆踊り「八海音頭」の普及に取り組んでいる。音頭は2年前の富士山の世界文化遺産登録10周年と忍野八海再興から180年の節目に、郷土の歴史を後世に残したいと団体が制作。代表の鷹野真実子さん(53)は「踊りを通して地域の子とまちに歴史を知ってもらいたい」と話している。
〈高橋咲良〉

八海音頭普及へ活動

(2025年8月7日付 山梨日日新聞 13面)

問1 「八海音頭」の普及に取り組んでいる団体名、設立年月、設立目的を教えてください。

・団体名：..... ・設立年月：.....

・設立目的：.....

問2 八海音頭の1番と4番には、どのような内容の歌詞がありますか。

・1番：.....

・4番：.....

問3 団体の鷹野さんは、八海音頭をどのようにしたいと話していますか。

.....